
2023年度事業計画

(2023年4月1日～2024年3月31日)

概 況

昨年度は感染症が拡大する中において、共存する態勢も徐々に整い、少しずつではありますが、以前のような事業運営へと戻ってくることができました。この3年間で社会環境もそれ以前とは大きく変化し、人々の趣味や趣向等も様変わりしました。フラワーデザインの普及活動を主体とする本会にとって、そうした新しい社会環境下で、どのように豊かで楽しく、安心、安全な活動ができるかを念頭に、計画を進めていきます。

本会は創立以来、フラワーデザインの普及、技術の向上、国際交流等を精力的に行ってきました。活動は半世紀を超え、人々の生活に少しずつ浸透してきています。ますます豊かな生活に寄与すべく、日本の文化、学術、芸術の発展のため、有益な事業を推進していきます。

全国の盲学校等支援施設に通う方々に花に触れていただく「花の宅配便事業」は10年目となり、好評を得ながら事業として定着してきました。

修了証（ディプロマ）事業は現在6つのコースが開かれており、基礎から応用、発展をも包含した、幅広い内容を網羅しており、各コースのインストラクターにより、全国の一般の方々にもフラワーデザインに親しんでいただくコースとして、フラワーデザインのますますの普及に期待が寄せられています。

9月にイギリス・マンチェスターで開催される「Interflora World Cup 2023」に、昨年見事に日本代表としての出場権を獲得した小松弘典NFD本部講師が出演します。本会を挙げて皆で応援したいと思います。

コロナ禍を経て、人々が家庭で過ごす時間が増加し、新たな趣味や体験を望んでいる方々により、少しずつフラワーデザインの普及の輪が広がっています。社会全般の方々に、より豊かな環境を提供する一助となれるよう、花によるさまざまな事業を通じ、日本の文化、芸術の伸展に寄与してまいります。

新生NFDに向け、さまざまな改革に着手し、皆さまにますます愛されるNFDへと歩みを進めていきます。「花とともに」さらなる高みへ向かいましょう。引き続き、本会運営へのご理解とご協力の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事長 西村 好正

各部・委員会計画

部会

総務部（花の図書委員会を含む）

さまざまな法改正や社会状況の変化に伴い、協会運営に必要な諸規程の精査、必要に応じて改正案の検討を行います。他団体からの後援等の申請、賞交付申請、審査員派遣申請に関する審査や、協会ロゴ入りオリジナル名刺受注、無料職業紹介事業も継続します。

第61回定時総会は、4年ぶりに出席制限を行わずに実施することとなりましたが、引き続き健康と安全を最優先とすべく、でき得る限りの対策を取って準備します。当日までの状況によって急な変更が生じる場合もありますのであらかじめご了承願います。

花の図書委員会では、会報誌「フラワーデザイナー」の“本の虫”での蔵書紹介や、ホームページでの蔵書一覧やサービス概要の紹介を行います。また、宅配便による貸出、寄贈受付、花ファッションハウスでの閲覧サービスも実施していきます。

財務部（助成運営委員会を含む）

役員へ定期的に予算執行状況の報告を行うとともに、その報告が協会運営に活かせるような方法を引き続き検討していきます。

インボイス制度、電子帳簿保存法等の法改正については適切に対処していきます。

助成事業「NFD one leaf fund」は現在募集を休止していますが、目的や効果、事業の継続について引き続き検討を行います。

会員組織部

今年度の支部総会の本部役員出向も、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大状況を踏まえ、本部役員出向、オンライン出向、資料配布の3つの対応としています。

6～7月に支部会計実務説明会を全7ブロックで開催します。新たに会計委員となった方に、より実務に沿った内容を、実際に書類を作成しながら説明を行うことで、深く理解していただくことを目的としています。

秋には「全国支部長会議」を行います。各種規程類の改正内容等、支部にとって大変重要な説明を行います。

「特別全国障害者スポーツ大会」は、鹿児島県において10月28～30日の3日間、開催されます。昨年に引き続き、ボランティアの方の想いがこもったビクトリーブーケをお届けしたいと思います。

昨年度実施した「体験レッスン割引クーポン配布事業」が大変好評だったため、実施期間を8月31日まで延長しました。一人でも多くの方に花に触れて花の素晴らしさを感じていただきたいと思います。

また、公益性の高い公認校応援事業「花とともにプロジェクト」も従来通り実施します。

公認校は地域社会とNFDを結ぶ重要な接点であり、フラワーデザイナー資格検定試験の実施だけでなく、フラワーデザインの普及や社会貢献活動の推進等、大切な役割を担っています。公認校が活動しやすいような協会施策を進めていきます。

資格検定部

本部主催のフラワーデザイナー資格検定試験は、全国9会場で合計19回の実施予定です。前期に好評だった実習なしで指導ポイントを学べる「資格検定試験テーマレク

チャー&デモ」、資格検定試験の級ごとのテーマをレクチャーと実習で身に付ける「指導者育成ゼミ」、資格検定試験の1級から3級全ての出題テーマの審査方法・審査ポイントを学ぶ「資格検定試験・審査研修会」、試験テーマをより深く掘り下げる「構成理論」、各種修了証コースの「インストラクター講習会」、「NFD講師新規登録選考会」、「フラワー装飾技能検定試験1級対応セミナー」を実施予定です。「指導者育成ゼミ」では花束編とブーケ編を追加しました。

さらなる技術や知識の研鑽に励んでいただき、常に最新の指導ができるよう、積極的なご参加をお願いします。

また、2023年度より、「NFD講師新規登録選考会」において技術確認（レベルチェック）を導入します。NFD講師として一定のレベルに達していないと判断された場合は後日指定の講習会受講後の講師認定とします。受講＝認定ではありませんので、1級取得後も継続的な研鑽を積み、講習会に臨んでいただきますようお願いいたします。また、指導される講師の先生方におかれましても今一度「公益社団法人日本フラワーデザイナー協会」の講師としての水準維持を確保するためにも、継続的な資格検定試験に関する講習会等の受講等、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

新たに、NFD講師登録証授与式は別日に花ファッションハウスにて実施することとしました。パネルディスカッション形式で現在活躍している講師を招いて、皆さまに夢を持っていただけるような魅力的な授与式としたいと思います。

事業部

2023年度は全国の主要都市7か所での本部事業開催を計画しています。

中高生を対象としたフラワーデザインコンテストも検討を進めており、東京以外での開催を行う予定です。

本年9月にイギリス・マンチェスターで開催される「Interflora World Cup 2023」に日本代表として出場予定の小松弘典NFD本部講師による事業も全国で実施を計画しています。

本年2月に久しぶりに招聘が叶ったウルズラ・ヴェゲナー氏によるセミナーも継続実施予定です。

その他、ようやく動きはじめた世の中で、改めて花とともに暮らせる喜びを多くの皆さまに感じていただける事業を実施します。たくさんのご参加をお待ちしています。

広報部

会報誌「フラワーデザイナー」では、「日本フラワーデザイン大賞2022」の上位入賞者の作品発表を新しく企画しています。

昨年度に引き続き、会員参加のカレンダー製作も進め、その広報としての活用方法についても検討していきます。また、YouTubeとの連動企画も、資格検定試験への導入となるよう、構成理論を学ぶ動画と、住空間でのコーディネート（ディスプレイ）を学ぶ動画に幅を広げ、会員の内外に手の届く広報を中心に展開していく予定です。

また、実施期間が延長された公認校体験レッスンイベントについても、引き続き集客となるような広報を実施していきます。

委員会

国際交流委員会

2023年10月2日～2024年3月28日にかけてカタール・ドーハで開催される「2023年ドーハ国際園芸博覧会」での日本国政府館における「メイン展示」制作を公募により本会が請け負うこととなり（3月12～28日の期間）、花ファッションデザインチームのメンバー

を中心に現在準備を進めています。

また、台湾花芸家協会との交流については、4月に現地での総大会に役員が出席する等少しずつ交流が再開しはじめましたが、引き続き継続的かつ友好的に進めていきます。

その他、中国在住の会員を対象とした事業も計画されており、国内外の感染状況を考慮し、実施方法を検討します。

花とともに委員会

「花の宅配便事業」は、10年目を迎え、例年実施している学校では子どもたちの情操教育において大切な活動として認識され、年間行事となってきました。ここ数年、感染症対策でボランティアとの交流ができなかった学校もありますが、生徒たちが学校外の方と花を通して触れ合う観点からも重要な事業であるとして要望が高まりを見せています。今年度も状況に応じた方法を模索しながら実施し、多くの方にボランティアとしてご参加していただけるようにボランティア登録を募り、一人でも多くの生徒にこの事業をきっかけとして花のある暮らしの楽しさを感じていただけるように努めていきます。

「卒業生応援プロジェクト」は、今年度もコサージュの制作から発送までを行っていただけの公認校を募集しますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

「NFD花の日」では、想いを託した花を届ける喜び、受け取る喜びを多くの方に感じていただけるように、分かりやすく、活動しやすい環境づくりの検討を重ねます。また、活動内容等を紹介して広報活動に努めます。

「ビクトリーブーケ贈呈事業」も継続し、フラワーデザインを通してパラスポーツをサポートしていきます。

以上のほか、フラワーデザインを通じて人々の心を豊かにできる社会貢献を活発に行う予定です。皆さまのご参加をお待ちしています。

資格検定試験基準改正委員会

昨年9月より公認校主催のフラワーデザイナー資格検定試験で、フラワー装飾技能士有資格者の同級のスライド受験が可能となりました。新しい生活様式の定着を受け、引き続き時代に即した資格検定試験を検討していきます。

技術委員会

新メンバーが加わり15名体制となった花ファッションデザインチームでは、花ファッションのさらなる発信と普及を目指します。

花ファッショントレンド2023のテーマは「ENJOY ～花を楽しむ～」。キーワードは「循環」、トレンドカラーは春夏「フレッシュグリーン」、秋冬「エバグリーン」。

「シーズナルレッスン」は昨年度に続き東京、大阪のほかオンラインでも実施の予定です。広報部と連携している会報誌「フラワーデザイナー」誌上の企画は4月より「Flower Styling」にリニューアルし、花ファッションと住空間のコラボレーションを提案していきます。

また、昨年度に引き続き「NFDラボラトリー講習会」を実施し、フラワーデザイナーとしてのレベルアップを目指す内容とします。

デジタルPR委員会

花の持つ癒しや魅力を広めて、「花」のある生活の素晴らしさを多くの方に感じてもらうため、初めての方でも楽しんでもらえるようなアイテムをYouTubeやSNS(Facebook、Instagram、Twitter)、メールマガジンで配信します。“花と過ごす時間”をテーマにした動画「Spending Time with Flowers」を継続配信予定です。また、eラーニングとは

異なり、気軽にフラワーデザインの楽しさに触れられる短編動画も配信予定です。どなたでも視聴できますので、ぜひお知り合いの方にもご紹介ください。また、YouTubeをタイムリーにお楽しみいただけるように、ぜひチャンネル登録をお願いします。

コンプライアンス委員会

定期的な委員会開催や監事との連携等により協会のコンプライアンス状況を把握して、内部統制の根幹をなすコンプライアンス体制のさらなる改善を図り、公正かつ適正な協会運営や社会的信用の維持・向上に努めます。また、そうした組織風土の醸成のため、必要な役職員へのコンプライアンス研修を実施します。